

# 兵解協だより

兵庫県解体工事業協会

(公) 全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11・4F

TEL 078-681-7710

TEL 078-599-8874

Eメールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

## 全解工連正会員代表者・事務局長会議並びに賀詞交換会が開催されました



代表者・事務局長会議で挨拶をする高山真幸会長

平成27年2月23日(月)15:30から「明治記念館曙の間」で正会員代表者・事務局長会議が開催されました。参加者は79名で兵庫県からは、上原会長他3名が出席しました。高山真幸会長が開会の挨拶に立ち、「建設業法が改正され、形式的な業種確立はしたが、様々な課題を乗り越え、実質的な業種確立を目指していきたい。」と述べられました。

この後、日本大学教授・解体工事施工技士試験委員会副委員長の湯浅昇氏による「建設業法における解体工事業の追加と技術者資格」というテーマで講演が行われました。同教授は、平成26年6月4日に建設業法の改正が告示、平成28年度には同法が施行され、経過措置によりその後3年間は、現行制度のまま工事施工が可能で、平成31年度から、実質的に同法の適用が行われることが決定していると述べられました。国交省では「解体工事の適正な施工確保に関する検討委員会」で、①鉄筋コンクリート造建築物等の解体工事指針の改定、②解体工事業の実務経験資格を有する技術者の配置、③主任技術者、監理技術者、解体工事施工技士の格付けをどのようにするか等の議論を進めているが、現在決定された事項



賀詞交換会で挨拶をする太田国土交通大臣

はまだありません。ただ、同教授は、解体工事施工技士の国家資格化は、極めて困難な見通しであるとも説明されました。

今後、新しい情報が入り次第会員の皆様方にお知らせをいたします。

講演会終了後、17:30から、「富士の間」で「賀詞交歓会」が盛大に開催され、173名が出席いたしました。

高山真幸会長の開会の挨拶のあと、国土交通大臣の太田昭宏公明党衆議院議員が来賓の挨拶に立ち、あらためて「解体工事業の業種の確立」のご祝辞と、今後の「解体工事業」の役割がこれから益々重要になって来るので「全解工連により一層の活躍を期待している。」と力強い激励の言葉を述べられました。

さらに、稲田朋美自民党政調会長、前田武志民主党元国土交通大臣、羽田雄一郎民主党元国土交通大臣、高木洋介公明党幹事長代理、室井邦彦維新の党元国土交通大臣政務官が来賓の挨拶に立ち、「祝辞」と「激励」の言葉を述べられました。

一方、国土交通省からは、吉田光市大臣官房建設流通政策審議官をはじめ7名の職員が出席いたしました。

この後、宴会が始まり、参加会員の賀詞交換が和やかな雰囲気の中で行われ、19:00に「平成27年新春賀詞交換会」は、閉会となりました。